

令和２年度美唄市総合計画審議会「戦略専門部会」
第１回会議概要

日時 令和2年10月1日(木) 15:00～16:00
場所 美唄市役所2階 市長会議室
出席者 委員：10名／15名中
市：総務部長、市民部長、保健福祉部長、経済部長、都市整備部長、教育部長、
教育部長、病院事務局長、消防長、企画広報課長、企画広報課長補佐、企画係長

次第 1 開会
2 議題
(1) 地方創生関連事業のPDCAサイクルによる効果検証について 【資料1】
(2) 企業ふるさと納税の実績 【資料2】
(3) 地方創生推進事業の採択について 【資料3】
3 その他

4 閉会

会議概要（質疑応答／意見）

(1)「美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況」について
(事務局より資料1により説明)

■基本目標１ 産業を元気にして安定した雇用を創出する

【各委員質疑】

Q. スノーフードとはなにか（委員）

A. 茶志内にある空知団地で、雪冷熱を利用した干し芋、ニンニク、米などの加工品を製造している研究会があり、そこで製造している製品のこと。（経済部長）

Q. エリア放送の実績がない。「事業者との調整がつかなかった」とはどういうことか（委員）

A. 首都圏のタワーマンションなどで美唄のPR映像を流す予定であったが、事業を進めていた連携事業者の経営状況が悪化し、進められなくなったのが現状。（事務局）

■基本目標２ 地域資源を使って新しいひとの流れをつくる

【各委員質疑】なし

■基本目標３ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【各委員質疑】

Q. 合計特殊出生率について、総合計画審議会の会議で示されたものと数値が違う。（委員）

A. 基本構想素案を策定した時期と、総合戦略の実績を整理した時期にタイムラグがある。総合戦略の実績値が直近の数値となる。（事務局）

■基本目標４ 高齢者や子どもたちが安心して暮らせるコンパクトなまちをつくる

【各委員質疑】なし

■その他

【各委員質疑】

Q. 全体的な評価について、数値的に評価するのは難しい。A、Bなど実際に数字上で目標値がその位置にあっても、例えば31年度ベースではどうなのか。じっくりこない。細かい部分ではこうして説明を聞けばわかるが、総合的に伝えるときにA、B、C・・・だけが出てしまう。他に文章以外の部分で評価する基準ができないものか。(委員)

A. これは第1期の総合戦略の効果検証で、現在第2期の総合戦略を進めている。第2期の効果検証の際には工夫したい。

【部会長】

今、委員からいただいたご意見は、この会議の意見として整理したい。

●まとめ

【部会長】

委員から出た意見については、第2期の効果検証に向けて評価方法の改善に努めて欲しいということでこの部会の意見としてまとめたい。事務局には対応についてどうぞよろしくお願いします。

【各委員】了承

(2) 企業版ふるさと納税の実績について

(事務局より資料2により説明)

【各委員質疑】意見なし

(3) 地方創生推進交付金活用事業の採択について

(事務局より資料3により説明)

【各委員質疑】

Q. 設定した目標に到達しなくなった場合は、交付金は減額されるのか。(委員)

A. 事業予算を使わなかった場合は減額されるが、目標に到達しなかったからといって減額されることはない。(事務局)

Q. 対象額の50%が交付金として交付されるということか。(委員)

A. お見込みとおり。(事務局)

以 上